

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十一年三月度 入選句（投稿総数三千九百十三句・小中学投句数三千三百二十四句）

特選

選者 高木 佐知子

先生の握手にならぶ春の式 大垣市 平田 ひなの(中二)

喜びも悲しみも分かち合ってきた先生との握手、さまざまな思いを伝えたくて順番を待つまっすぐな心がよく表れています。「握手にならぶ」という中七が、読み手を引きつけます。さらに、「春の式」が卒業式であることも想像することが出来ます。温かい風、笑顔、希望を思い起こさせる「春の式」という季語が生きている素敵な一句です。

しんちようにたなから出したひな人形 大垣市 川村 なつき(小四)

三月の桃の節句にひな人形を飾るのを楽しみにしていた作者の思いが「しんちように」の上五によく表れています。ほぼ一年間、箱の中で静かに待つていたひな人形との対面は格別なのでしょう。箱からひな人形を出す手のやさしさやあたたかさまでもが伝わってきます。気持ちが俳句をふくらませていることを改めて教えてもらえた一句です。

グローブでさくらふぶきをキャッチする 大垣市 清水 かな(小二)

グローブでキャッチするといえば一番に思い浮かぶのはボールです。それがさくらふぶきというのですから楽しくなります。誰かとキャッチボールをしていたところがさくらが舞ってきたのでしょう。思わず腕を伸ばしてさくらふぶきをキャッチした様子も想像することができます。さくらのピンクと空の青が同時に浮かんで、この一句をさらに元気にしています。

秀逸

かえるくんぼくにもそのあしくださいな 大垣市 服部 友哉(小四)

花の野に四つ葉一本見つけたよ 大垣市 春日井 愛梨(小四)

はるかぜがむしさんたちをおこしてる 大垣市 和田 悠生(小二)

つばめのすあかちゃんいっぱいおおさわぎ 大垣市 早野 みらん(小三)

すずめの子親のせ中をおってゆく 大垣市 平墳 沙希(小六)

授業中うたたねしそう春うらら 大垣市 亀石 あおい(小六)

おにごっこどこへにげてもはるのかぜ 大垣市 梅田 ゆあ(小四)

ぼくの顔のせてとんでくしゃぼん玉 大垣市 清水 琉惺(小四)

桜道犬の鼻先ピンク色 大垣市 奥田 真央(中二)

新品の自転車に乗る春の風 大垣市 眞下 直也(中二)

入選

ゆきだるまころころころどっこいしょ 大垣市 伊藤 杏(小三)
 えほうまきしずかに食べるもぐもぐと 大垣市 あい原 明生さ(小三)
 青空といっしよに写る冬桜 大垣市 鈴木 歩奈(中二)
 放課後にタイムちぢまり秋の息 大垣市 今西 星斗(中二)
 芭蕉像桜紅葉にすまし顔 大垣市 安田 うらら(中二)
 秋の朝みんなで歌うハーモニ― 大垣市 遠藤 有佳(中二)
 百周年秋の風のり大垣市 大垣市 宮脇 彩羽(中二)
 ボール投げ天まで届け秋の空 大垣市 大熊 琉月(中二)
 雨あがり土のにおいで春感じ 美濃加茂市 山口 幸乃(中二)
 おはようと道のたんぽぽ声かける 美濃加茂市 小原 茉白(中二)

入選

しやぼん玉とおくにうかべうちゅう行け 大垣市 水野 晴香(小三)
 たんぽぽがみんなでゆれておどりだす 大垣市 栗田 莉沙(小三)
 タンポポのわたげが空のおさんぽへ 大垣市 中屋 蒼亮(小二)
 くさの中つくしのあたまみえている 大垣市 日比野 透真(小二)
 ランニングさくらの木みてひとやすみ 大垣市 仲村渠 涼太(小四)
 つばめの子えさほしがってパイと鳴く 大垣市 松川 あおい(小四)
 おもい出がいつぱいでてくる卒業式 大垣市 佐竹 りな(小五)
 おちこんで見上げてみれば春の空 大垣市 新井 ひなた(小四)
 いつまでもそこにいてくれ桜の木 大垣市 牛田 温斗(中二)
 胸にだく卒業証書と春の風 大垣市 棚橋 万桜(中二)

選者吟

飛行機雲春分の日の空分かつ

佐知子